



ワイオミングの果てしない大空の下、秘密の谷ウインドリバーを求めて旅立つ——
これは戦う男の壮絶勇猛の物語！

ワイオミング

コロムビア映画提供 マーティン・ランゾホ・プロダクション
チャールトン・ヘストン ブライアン・キース
THE MOUNTAIN MEN
スティーブン・マクト ビクトリア・ラシモ セイモア・カッセル
音楽 ミ歇尔・ルダラン 製作総指揮 リチャード・ハート・ショーンズ
製作 マーティン・ランゾホ・プロダクション
脚本 フレイザー・クラーク・ヘストン 監督 リチャード・ハート・ショーンズ

ワイルド・イン・ザ・マウンテン

THE MOUNTAIN MEN

☆勇猛果敢、ロマンズ——

西部の開拓史を創った

ふたりの男

1836年、ロッキーマウンテン。長年ハンターとして自由に暮らしてきたタイラー(チャールトン・ヘストン)とフラップ(ブライアン・キース)はある日、ひよんな事から美しいインディアン娘、ランニング・ムーン(ビクトリア・ラチモ)を救った。

だが、彼女はもう猛なブラック・フット族の酋長、ヘビー・イーグル(スティーブン・マクト)の愛人だった。どうしても部族には戻らないランニング・ムーンとともに、ふたりは年一回の集會地、ポポ・アージーに向った。祭りの席上、タイラーは魔法を使うという男からウインド・リバーにビーバーの秘密の谷があることを聞く。

三人はウインド・リバーを目指し、旅立つが、そこには執拗なヘビー・イーグルのワナが待ち構えていた。トキの声を上げて襲う無数のインディアン群れ。三人の運命は——。

☆数百人の男たちが

生きたいように生きた

雄大で自由な物語——

この作品は生き残ることに熟練を要する山男たちの生活を描くと同時に自由の物語でもある。百万マイル四方の北米大陸の一部で全く生きたいように生きているほんの数百人の男たちの物語だ。プロデューサーのマーティン・シェイファーとアンドリュース・シャインマンはこの映画を実際に彼らが住んでいた場所——ジャクソン・ホール、イエローストーン国立公園あたりで全篇ロケーションによって撮影した。製作は冬から春への季節の移り変わりをとらえるため、4月の末に始められた。

☆山男たちの年一回の集會——

当時のロッキーマウンテンでは毎年春になると、何百人もの人間が一同に集結する。その目的は一体何か——。

猟師は戦利品の毛皮を処分し、現金などに変えるべく商人と会い、インディアンたちは馬と引きかえに女を売る。彼らは安酒を飲み、歌い踊り、セックスにふけり、ケンカをする。つまり、商売とお祭りの半々の一大行事であった。

☆百年前の一大行事を

見事に映像化——

キャストは当時のようにイギリス人、ドイツ人、フランス系カナダ人、スコットランド人、アメリカ原住民など多彩。又、音楽もバイオリン、バグパイプ、インディアン人のドラム、バンジョーなどいろいろでお祭り気分を盛りあげる。ゲームも様々で、七面鳥射ち、レスリング、競馬、トマホーク投げ、インディアン人の球技やギャンブルゲームなどが画面に色彩りをそえる。又、ブラック・フット族などに扮するのはジャクソン地区に住むショーニーニ族の人たちが協力している。



11月8日(土)ロードショー

新宿歌舞伎町 (202)
新宿 ミラノ座 1189

●特別鑑賞券 ¥1,100 (一般 ¥1,400 / 大学・高校 ¥1,200 のところ) 劇場窓口にて発売中!